

問1 空気中にごくわずか（約0.04%）しか含まれておらず、ちっ素と同じようにものを燃やすはたらきがない気体は何ですか。

問2 ものが燃え続けるとき、まわりの空気はどのように動きますか。

問3 ものが燃え続けるには空気が必要ですが、燃えているところに新しい空気がこないようにすると、火はどうなりますか。

問4 空気の入り口を下に、出口を上にして空気の入れかわりをよくすると、びんの中のろうそくの燃え方はどうなりますか。

問5 集気びんの中でろうそくを燃やし続けると、やがて火が消えてしまいます。このように、ものが燃えたあとに火が消えるのはなぜですか。

問6 空気の中にいちばん多くふくまれている、全体の約5分の4をしめている気体は何ですか。

問7 空気の中にある酸素や二酸化炭素の体積の割合をはかるために使う器具はどれですか。

問8 ちっ素や酸素、二酸化炭素、水蒸気などのさまざまな気体が混じり合っていてできている、私たちのまわりを取り囲んでいるものを何といいますか。

問9 ろうそくや木が燃えるときに、空気中から一部が使われて減る気体は何ですか。

問10 気体検知管を使うと、空気の中にあるどのようなことを調べることができますか。

問11 ろうそくや木が燃えるとき、まわりの空気中の気体はどのように変化しますか。

問12 集気びんの中でろうそくを燃やすとき、びんにふたをして新しい空気が入らないようにすると火が消えるのはなぜですか。

問13 ものが燃え続けるために、たえず新しく入れかえる必要があるものは何ですか。

問14 実験で、空気の入り口をだんだんせまくしていくと、ほのおの大きさはどうなりますか。

問15 ろうそくの熱であたためられた空気が上へ動くのは、空気のどのような性質によるものですか。

問16 ものを燃やすとき、ほのおの大きさを決めるのは、気体に含まれるどの気体の割合ですか。